

# 大宮中学校音楽科《第2学年》年間指導計画

## 音楽科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

例：知は、「知識・技能」、思は、「思考・判断・表現」、態は「主体的に取り組む態度」

月	単元名等と配当時間	指導目標	指導内容	観点	評価規準
4	音楽の決まりを理解しよう <4時間> 「校歌写譜」 「リズムドリル」	曲の構成や曲想の変化を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の構成や曲想の変化を感じ取らせながら、曲にふさわしい表現を工夫させる。</li> </ul> リズム 旋律 全音符 付点二分音符 二分音符 付点四分音符 四分音符 付点八分音符 八分音符 十六分音符	知    思	リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取って表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。  音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。
5	曲の仕組みを理解し、オーケストラの名曲を鑑賞しよう <3時間> 「交響曲第5番 八短調」	曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解させる。</li> <li>感じ取ったことを客観的な理由を挙げながら批評させる。</li> </ul> リズム 旋律 形式 音色 動機	知   態	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ②オーケストラの楽器について理解している。 オーケストラの響き、曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして味わって聴いている。
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽鑑賞教室に向けてオーケストラの名曲を鑑賞する</li> <li>声や体を使ってアンサンブルを楽しもう</li> </ul> <3時間> 「野菜の気持ち」	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏することができるようにする。  音楽鑑賞教室に向けてオーケストラの名曲を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムの役割と全体のグループとの関わりを理解して、合わせて演奏させる。</li> </ul> リズム 強弱 構成	判   技	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫している。  リズムを演奏するために必要な基礎的な知識と技術を身に付けて演奏している。
7 9 10	速度や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌おう <6時間> 「課題曲」 「自由曲」	曲の速度や強弱の動きを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の速度や強弱の動きを感じ取らせながら、曲にふさわしい表現を工夫させる。</li> </ul> 強弱 速度 旋律 リズム 音色	技   思   態	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。  リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。  曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11	舞台芸術と音楽との関わりを味わいながら聴こう <4時間> 「歌舞伎（勸進帳）」	音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、その良さの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫を生かしたりすることができるようにする。 歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペラについて理解させる。</li> <li>歌舞伎について理解させる。</li> <li>音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、その良さの根拠を言葉で説明させる。</li> <li>楽曲にふさわしい発声や歌い方を工夫させる。</li> </ul> 旋律 テクスチャ 音色	知   思   態	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。  音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。  音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12	ギターの基礎奏法 <4時間>	ギターの特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギターの基礎的な奏法を身に付けさせる。</li> </ul> 音色 速度 旋律	知   思	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。  音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。
1	リコーダー 威風堂々等、基本的な進指<4時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽曲の雰囲気や味わいを支えている音楽の諸要素を知覚する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組ませる。</li> </ul> 音色 旋律 構成	知   思	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。  創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。  曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。  曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。  表現したいイメージを知り、音楽材を知覚し、表現の工夫を見つける。

2 3	感謝の気持ちを合 唱で届けよう <7時間>  卒業式で歌う歌 君が代	・曲種に応じた発声により、言葉の特 性を生かして歌うことができるよう にする。	・歌詞の内容や曲想を感じ取り ながら思いや意図をもって歌わ せる。  音色 速度 旋律	<div style="border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技</span> 混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に          付けて歌っている。       </div> <div style="padding-top: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">態</span> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を          もち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌          唱の学習活動に取り組もうとしている。       </div>
--------	---	---	---	---